



No. 254

令和3年8月6日

編集：区議会だより編集委員会

発行：千代田区議会

〒102 - 8688 千代田区九段南 1-2-1

☎ 03-5211-4297（直通）

ファクシミリ 03-3288-5920



一般社団法人 千代田区観光協会 第5回東京大回廊写真コンテスト 入賞作品「水のカーテン」 細田 邦昭

トップニュース

Top News

令和3年度千代田区一般会計補正予算第2号を可決

■「商工関係団体等支援事業」及び「キャッシュレス決済を活用した地域経済活性化事業」として、補正前の額、639億5,169万1千円に、3億8,500万円の予算額が追加されました。（詳細は、6ページをご覧ください。）

「解散処分無効確認」等の裁判にかかる東京地方裁判所の判決について

■区議会の原告議員の主張が全面的に認められました。（詳細は、8ページをご覧ください。）

主な内容

- 代表質問 2面
- 一般質問 3～ 5面
- 定例区議会活動報告等 .. 6～ 7面
- 本会議における討論等 .. 8～ 9面
- 議案の審議結果等 10面

提案された議案等

◆区長提出議案

- ・ 予算 1件
- ・ 条例 7件
- ・ 契約 4件
- ・ 指定管理者の指定 1件

◆議員提出議案

- ・ 条例 2件
- ・ 会議規則 1件



●ホームページアドレス

<https://gikai-chiyoda-tokyo.jp>



●メールアドレス

kugikai@city.chiyoda.lg.jp

●公式 Twitter

@Chiyoda_Kugikai

*区議会だよりは、新聞折込で配布しています。購読していない区内在住・区内事業者の方には郵送いたします。また、音声版（CD）、点字版も作成しています。区内在住でご希望の方は、区議会事務局 ☎03-5211-4297（直通）までご連絡ください。

区議会だよりは区議会ホームページでもご覧になれます。また、区議会の最新情報をお届けする「区議会公式Twitter」も発信していますのでぜひご利用ください。

令和3年第2回定例区議会

代表質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

千代田区議会 自由民主党



たかざわ 秀行

新型コロナ対策について

- 問** 高齢者へのワクチン接種が始まり、かかりつけ医での個別接種の準備が進む中、ひとり暮らしの高齢者等へのサポートをどのように考えているか。
- 答** 各出張所等と連携し、事前周知を行うとともに、接種予約をする際の補助等、支援を行っている。



今後の子育て・教育行政

- 問** ①教育委員会事務局に子ども部を設置している本区の執行体制について、どのような認識か②昨年度前倒しで実施した「1人1台端末の整備・校内通信環境の整備」の進捗と活用方策は。
- 答** ①子どもを中心に置いた社会づくりに貢献し、教育・福祉など切れ目のない支援を実現できる体制である②端末整備を終え、活用状況の実態調査を実施。研修等を行い、ICTを活用できる教員の育成を目指す。

再開発の進捗と今後の取り組み

- 問** ①緊急事態宣言の中、まちづくりの考え方について改めて問う②外神田一丁目地区の現状と進捗状況は。
- 答** ①コロナ禍を教訓とした時代に合った機能誘導が必要であり、様々な施策を組み合わせ、まちづくりを進める②清掃事務所や万世会館の機能更新に加え、沿道の一体的な耐震化も必要。今後、都市計画の手続きに入る。

日本共産党区議団



木村 正明

五輪中止しコロナ対策に全力を

- 問** オリンピックとコロナ対策は両立できない。安全で迅速なワクチン接種や中小事業者支援等に力を集中すべき。
- 答** 国や都に十分なワクチンの配給を要請するとともに、区民の早期接種に向け調整を進める。中小事業者に対して必要なタイミングで効果ある支援を実施する。

緑を守り育てるまちづくりを

- 問** 街路樹を守り育てるために①沿道住民の声を尊重すべき②まちづくりをサポートする専門家の役割をしっかりと位置づけるべき。
- 答** ①これまでも協議会やアンケート実施等で幅広く意見を聞き検討してきた。今後、協議会の構成や計画の周知方法等を研究していく②より適切な役割・位置づけについて他の自治体の先進事例等研究していく。

再開発は情報提供と住民合意で

- 問** 清掃事務所を含む外神田一丁目南部地区再開発事業について、住民や現場職員の合意と区民への十分な情報公開が欠かせないのでは。
- 答** 現場職員と意見交換を行い合意形成に努めるとともに、住民説明会を開催し意見を聞きながら進める。本再開発事業を推進するにあたり、必要な情報を適切な時期に開示していく。



千代田清掃事務所

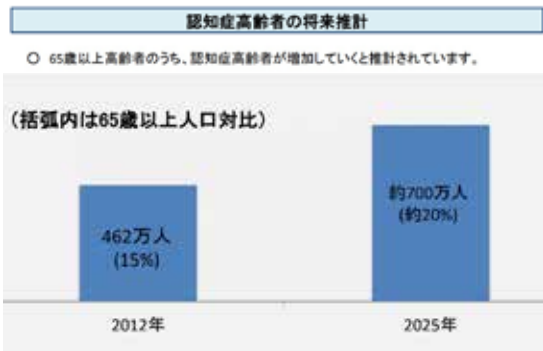
公明党議員団



大串 ひろやす

「千代田区認知症とともに生きる希望条例」の制定を提案！

- 問** 認知症に対して、全ての記憶を失うのではなく、本人の意思や感情は豊かに備わっていることが明らかになってきた。そこで①これまでの認知症観の転換と認知症となっても尊厳と希望を持って地域で当たり前に生活できることを目指す「千代田区認知症とともに生きる希望条例」の制定を提案する②本人や家族が交流できる認知症カフェや本人たちが集う本人ミーティングは、本人や家族が支え合い主体的に生きていくための場である。拡充を。
- 答** ①条例制定のプロセスにおいて多くの人が関わり議論することが重要。具体の施策推進と合わせ検討していく②本人、家族と支援者が交流できる場は、本人の意思を支援や施策に反映していく上で重要であり、拡充していく。



厚生労働省のホームページ
「認知症の人の将来推計」より

改定した都市マスの目指したものは

- 問** 今回の都市計画マスタープランは、人と人とのつながりを大切にした生活のビジョンを示し、そのことを基本にまちづくりを進めるとした。改めてプランで目指したものは何かを問う。
- 答** 将来像として、人と人、人と社会などがつながり地域の個性を維持発揮し住むことができるまちづくりを進めるとした生活のビジョンである。

令和3年第2回定例区議会

一般質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

永田 壮一

(自民)



国産製品導入推進について

問 マスク不足は中国への生産依存が原因だった。セキュリティ上脆弱性がある中国製パソコン(PC)は、国策でレノボ製をダンピングして市場を崩壊させIBMから始まりNEC、東芝、富士通のPC事業を買収して技術を吸収してきた。中国製はもとより、日本企業を装ったPCも使うべきではない。食料や生活必需品の供給が滞るチャイナリスクを想定して国産製品導入推進を求める。

答 マスクや日用品不足は区民の安心安全を揺るがす事態だと認識している。PC、通信機器はセキュリティポリシー対策基準に基づき導入。備蓄物資は可能な限り国産を調達している。



小枝 すみ子

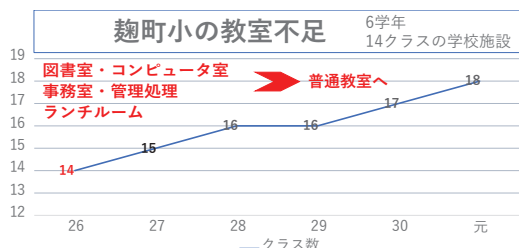
(声)



子どもたちに説明できるまちづくりを

問 ①急激な都心集中政策により、学習基盤である教室や遊び場の不足が生じ、麹町小学校では図書閲覧室やコンピュータ室などを普通教室に転用することで対応してきた。今後、5年間で少人数学級への対応ができるのか②公有地拡大法の趣旨の下、住民生活や教育環境に必要であれば、適正な公有地の確保に努めるべき。

答 ①麹町区民館和室を転用することで、全ての学年で対応可能となる見込み②これまでも関係法令に基づき都やUR都市機構に照会し、適切な対応を図っており、公共用地として取得手続きを進められる物件はなかった。



西岡 めぐみ

(自民)



子どもの多彩な公園遊具の充実化

問 専門知識を有するメンバーの意見を反映し、子どもの身体的能力向上につながる複合遊具を選定するべきでは。

答 専門家の支援を受けているが、メーカーを入れることも検討していく。

屋内型複合遊具施設の事業提案

問 園庭のない保育園が増加しているなか、本区の「ビルが多い」という特性を生かし、特に保育園が集中する地域に、公民連携で区民の子どもが遊べる屋内型複合遊具施設を整備しては。

答 他の市町村での事例の情報収集を行い、まちづくりでの課題解決も含め、研究していく。



池田 ともりの

(自民)



放課後の居場所づくりについて

問 本区は子育てしやすいまちを目指して子育て支援に取り組み、保育園の入所については待機児童ゼロ等一定の成果が見える。しかし、近年の児童数増加により、放課後の学童クラブ等への申込みが増加し、定員を増やしても申込みすらできない児童がいるのが現状である。新たな施設整備の検討を含め今後の学童クラブ、学童保育の在り方等、新しい放課後の居場所づくりの強化を求める。

答 区立の学童クラブに加え学校内設置の学童クラブ等の整備や、全ての区立小学校内で全在校生を対象にした放課後子ども教室を実施し、待機児童ゼロを継続している。一方、地域によってはスペースに制約があり、定員が埋まってしまう状況もある。新たな施設整備には高いハードルがあるが、様々な手法を検討していきたい。

長谷川 みえこ

(紡ぐ会)



秋葉原の客引き防止

問 ①悪質な客引き行為の改善に向けた具体的な方策は②客引きをする若年女性を取り巻く環境は虐待や貧困等、様々。支援が必要では。

答 ①秋葉原に関わる多様な団体からなるオール秋葉原の活動団体を設立し、法令に基づく指導や自主ルール作成など様々な連携・協力を行う②都のモデル事業に参加する民間団体と連携し、声かけや居場所確保等に取り組む。

秋葉原のまちづくり

問 外神田一丁目南部地区再開発にかかる街並み再生地区指定の申請にあたり、住民の意見は反映されているか。

答 申請の目的は、地域の方々と検討してきた基本構想を具現化することであり、権利関係者等との勉強会も重ねてきた。



令和3年第2回定例区議会

一般質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

米田 かずや

(公明)



ワクチン接種について

問 ①本格的なワクチン接種を開始したが、これまでの接種における課題は②接種対象者が12歳以上に引き下げられるが現段階での方向性や方針は。

答 ①待機場所の確保等の課題は改善してきた。今後、個別接種を担う区内診療所でのワクチン確保が課題である②中学校や高校での集団接種には様々な課題があり、厚生労働省の方針等を踏まえ、慎重に検討する。

デジタル弱者へのサポート

問 デジタル化を進めるにあたり、デジタル弱者に対してどのように支援していくのか。

答 誰もがデジタル化による利便性等の恩恵を受けられるよう、関係各部署と議論を重ね、様々な支援策を展開できるよう努める。

岩田 かずひと

(立民)



気圧の変化などによる健康被害とその対策について

問 気圧変化による頭痛等の健康被害は、気象条件のほか高層建築物やそれに附置するエレベーターから引き起こされると言っても過言ではない。また、容積率緩和で住民を増やす一方で、学校教室が足りないために他の施設を教室に転用する等、政策に一貫性がない。高層化や容積率緩和はデメリットが多すぎると考えるが、区の考えは。

答 高層建築物等に関する健康被害について、その因果関係を裏付けるものは把握していない。また、高層化はまちづくりの手法の一つである。早くから都市化が進み、マンション等が早期に普及した本区では、今後も老朽化した建物の機能更新・建替えが必要である。都市インフラや区有施設への影響を検証しながら市街地の更新を図っていくべきと考える。

内田 直之

(自民)



財源確保に区債の検討も必要

問 コロナ禍で今後、区の財政運営は厳しくなり、財源不足のために基金の取り崩しが常態化する事態も想定される。経費の標準化と世代間の公平性の観点から、必要な財源を区債の発行によって補うことを検討しては。

答 区債の必要性について、基金の活用と併せて研究を進める。

熱中症対策を災対計画に設定すべき

問 命の危険がある暑さにより、熱中症で救急搬送される人が増加している。熱中症対策は、区民の命と生活を守る区政の最重要課題であり、改定予定の「災害対策事業計画」に感染症対策と併せて設定するべきでは。

答 今後の計画改定に向け、感染症対策や暑熱対策は、基本的な災害対策における新たなリスク要因として、施策目標への反映・設定を検討していく。

本会議の傍聴はインターネットで！

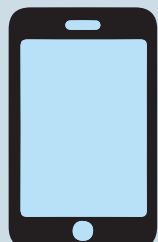
■ インターネット中継

千代田区議会 HP の「インターネット中継」で本会議の生中継及び録画視聴が可能です。右の2次元コードや区議会 HP からご覧ください。



■ 文字(字幕)配信

インターネット中継の音声聞こえづらい方向けに本会議を文字で生中継しています。右の2次元コードや区議会 HP からご覧ください。



■ ちよだ区議会だよりをスマホで！

各自治体の広報紙やニュースが閲覧できる無料アプリ「マチイロ」で「ちよだ区議会だより」を配信しています。スマートフォンやタブレット等で、いつでも手軽にちよだ区議会だよりをお読みいただけます！ぜひ、右の2次元コードからダウンロードしてください。



マチを好きになるアプリ



■ 新型コロナウイルスに対する千代田区議会の対応

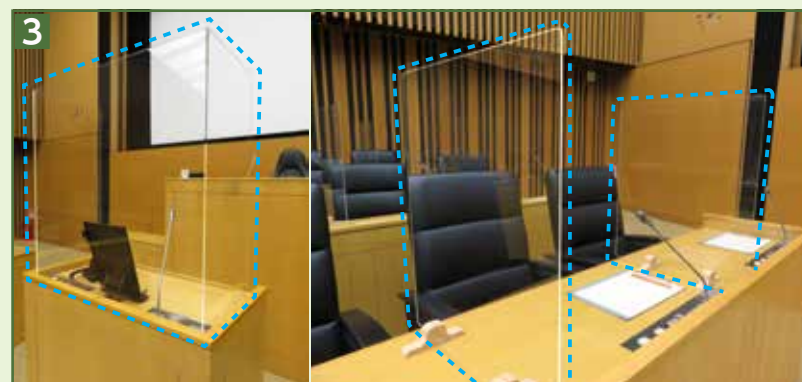
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、区議会では主に次のような対応を行っています。



1 区議会議員は登庁時、傍聴者は受付での検温消毒を実施



2 ソーシャルディスタンスを確保するため、傍聴席数を制限



3 飛沫防止のため、登壇席や議席にアクリル板を設置
本会議場のアルコール消毒を実施

令和3年第2回定例区議会

定例区議会活動報告

常任委員会



常任委員会では、区長提出議案13件、議員提出議案1件を審査しました。
議案の審査経過をご紹介します。なお、審議結果は10ページをご覧ください。

企画総務委員会

議案8件のうち主な審査経過は以下のとおりです。

議員提出議案第6号「千代田区住宅基本条例の一部を改正する条例」は、区の住宅施策へ区民参加を促進するため千代田区住宅政策審議会を設置するほか、開発事業者へ教育・保育施設等の整備状況に配慮した開発計画になるよう要請できるよう条例の整備をするものです。公布の日から施行します。

<審査経過>

質疑の中で、現条例でも子育て支援施策に配慮する仕組みがあること。住環境を整備する中で、子育てだけでなく介護や障害への配慮等、様々な需要があること。審議会設置済の他区では、約半数が住宅基本計画改定時のみ開催していること。

議案提出者は、耐震化等のための既存建て替えと新規建設を区別し、住民参加のうえで、それらの運用を検討するよう想定していること。財産権へ一定のコントロールがされるため、条例に根拠規定を設け、執行機関と議会で議論し、施行規則で具体化するように考えていること。

全委員の共通認識として、住宅政策に住民参画促進は必要であること。開発事業者も含め、様々な議論を行い、丁寧に協力を求め、課題解決すべきこと等が明らかになりました。

<討論>

【反対の意見】

審議会設置は理論的には正しいと思うが、現時点では改正内容が整理しきれておらず、時期尚早のため、反対する。(小林た)

事業者等に負担を求めるのは慎重に議論を行う必要がある。また、審議会のあり方について、他区を参考に議論を深めたほうがいいと考え、本議案に反対する。(大坂)

追加される内容が現条例の趣旨と異なり、そぐわない。また、開発事業に制限を加えることができるのは地権者の合意のみであるべき。そのため反対する。(大串)

【賛成の意見】

子どもの遊び場、教室、学童は不足している。審議会設置で開発事業者も問題意識を持ってもらえる。質の高い住宅政策を進め子ども達の利益を守る提案なので賛成する。(小枝)

「することができる」という緩やかな規定であり、業者の一方的な開発抑制のために必要なので賛成する。(岩田)

その他、「千代田区の一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部を改正する条例」ほか6件の審査をしました。

地域文教委員会

議案3件のうち主な審査経過は以下のとおりです。

「令和3年度千代田区一般会計補正予算第2号」は、補正前の額639億5,169万1千円に3億8,500万円の予算額を追加し、補正後の一般会計予算額を643億3,669万1千円とするものです。「商工関係団体等支援事業」として、地域経済の活性化として各商工関係団体の元気回復に資する取組みに対して300万円を上限に対象経費の10分の10を補助し、複数の対象団体が連携して取り組む場合には各団体の申請限度額の合計の1.5倍まで補助するとともに、別途300万円を上限に、会員から徴収する会費の減額を行う各商工関係団体に対して、区がその減額分を補填するものです。また「キャッシュレス決済を活用した地域経済活性化事業」では、区民生活応援及び区内中小企業の支援を目的としてキャッシュレス決済によるポイント還元を実施するもので、いずれも新型コロナウイルス感染拡大による影響を踏まえて実施するものです。

<審査経過>

質疑の中で、キャッシュレス決済は、店舗への導入コストや利用手数料が安価であり、高い費用対効果を見込むことができるため、区民生活を応援し地域経済の活性化を図るとともに、地元の魅力ある店舗を知ってもらうことが期待できること。また、区内で適切な感染予防対策を実施している施設「千代田区新しい日常店」の認証を獲得している店舗は、特別枠としてプレミアム率を高くすること。一方、キャッシュレス決済の導入が難しいと考えている経営者の方やスマートフォンの操作に不慣れな区民の方などの、いわゆるデジタル弱者の方が切り捨てられることのないように、経営者の方にも区民の方にも丁寧に説明をしながらこの制度を活用していただけるようにすることが明らかになりました。

「千代田区特別区税条例の一部を改正する条例」は、地方税法等の一部改正に伴うもので、特別区民税均等割の非課税の範囲等に関する扶養親族の範囲を見直すものです。また、セルフメディケーション税制の適用を令和9年度特別区民税まで延長するほか規定を整備するもので、セルフメディケーション税制の延長については令和4年1月1日から、その他の改正については令和6年1月1日から施行します。

質疑の中で、国外居住者を一律扶養控除の対象としないというわけではなく、一定の条件がある方については、従前どおり控除の対象となることが明らかになりました。

その他「千代田区区民館条例の一部を改正する条例」の審査と、麴町小学校普通教室増に向けた改修工事について等の報告がありました。

常任委員会



保健福祉委員会

議案3件の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例」及び「千代田区介護保険条例の一部を改正する条例」は、新型コロナウイルス感染症に起因して収入が減少した被保険者等への支援策として、前年に引き続き保険料の減免を行うものです。

〈国民健康保険条例の審査経過〉

対象年度中に転居し、保険者が変わる場合は、再度減免申請手続きが必要となること。今回の措置は、基本的には国の財政支援があって、各自治体とも実施するものであること。保険料収納後に減免申請を承認した場合、収納済みの保険料を還付すること等が明らかになりました。

〈介護保険条例の審査経過〉

直近3か月程度の事業収入がわかるものを提出してもらい、前年収入と比較し、減免対象者を判断すること。昨年千代田区が実施した12万円の給付金は、事業収入には含まれないことが明らかになりました。

「千代田区立障害者就労支援施設の指定管理者の指定について」は、千代田区立障害者就労支援施設の指定管理者の指定期間が満了することに伴い、令和4年4月から令和14年3月までを指定期間として、社会福祉法人武蔵野会を指定するものです。

〈審査経過〉

今回の選定では、さくらベーカリーが障害者就労継続支援B型の業務となること。選定委員会は、障害等のある方の保護者や区民の方の意見を大きく反映できる委員で構成され、議論が進められていたこと。指定管理者を変更するため、引継ぎは、利用者や保護者の方々の負担にならないよう丁寧に行う予定であること等が明らかになりました。

その他新型コロナウイルスワクチン接種状況について、シルバートレーニングスタジオ事業について、千代田区新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じている飲食店等への認証制度「新しい日常店」の認証状況について、食の安全自主点検店公表制度の改正について、新型コロナウイルスワクチン接種事故について、報告がありました。

特別委員会



環境・まちづくり特別委員会

地域まちづくりについて、区内全域の動向の報告があり、協議中の地区や現在事業中の地区、現在地区計画策定されている39地区等の状況が示されました。

また、「外神田一丁目南部地区再開発事業」に関する陳情審査が行われました。そのなかで、当該再開発事業の概要やこれまでの経緯報告があり、また、意向調査のやり方や関係者の同意確認等、手続きを進める条件の確認をしました。

公共施設調査・整備特別委員会

当委員会で検討する各施設等に関して、軽井沢少年自然の家については「あり方検討協議会」を設置し検討を進めること、旧箱根千代田荘については令和元年度にモデル事業案を作成したが、新型コロナウイルス感染拡大等の社会経済状況を踏まえた宿泊施設の事業化について再度検討を行うこと、スポーツセンターについては建設候補地を検討し、基本構想(案)を策定すること等、理事者から報告がありました。

災害対策・危機管理特別委員会

地区防災計画の概要、これまでの実績及び取り組み内容について、理事者から報告がありました。

地区防災計画とは、一定の地区の居住者及び事業者が自発的に行う防災活動に関する計画をその居住者等が主体となって作り上げる制度で、日常から住民自らが災害時の備えや地域としての防災対策に取り組むことで、防災意識の普及啓発や防災力向上につなげていくことを目的としたものです。

議会のあり方調査検討特別委員会

開かれた議会の実現を目指して「議会のあり方」全般について自由闊達に議論していくため、まずは委員間で様々な意見交換を行いました。出された意見を踏まえて、今後は短期的・中期的・長期的課題事項を整理し、議会運営に関する他区の状況等を参考にしながら、区議会の取り組みをしっかりと発信していくため、精力的に調査していくこととしました。





本会議における討論

今定例会では、次の1件の議案を採決するにあたり、討論がありました。その要旨をご紹介します。

1. 千代田区住宅基本条例の一部を改正する条例 **【否決】** **【反対の意見】**

本条例は開発事業者に住宅付置・開発協力金等の負担を課す根拠となっており、慎重な審議を経て制定に至った。本規定は開発事業者に更なる負担を課すものであり、慎重な議論が必要。また、住戸数制限等の措置に繋がりがねないこと、耐震化のために建て替えるマンション管理組合等が開発事業者に含まれる可能性があること等、解決すべき課題がある。

住宅政策審議会の設置は運営組織の拡大や事務増加が見込まれ、他区では住宅基本計画改定時に審議するに留まっている。審議会の運営やあり方について更に時間をかけて検討する必要がある。以上のことから、本議案に反対する。(うがい)

【賛成の意見】

住宅政策審議会を設置することで、区の住宅施策に住民参加が促進され、学識経験者の知見を得ることで専門性が強化される。また、開発事業者に対し、教育・保育施設等の整備状況に配慮した開発計画とするよう要請できることで、子どもの最善の利益を守る教育・保育環境が期待できる。

人口減社会における都心部への人口集中は、他方で地方の人口減をもたらしている。教育・保育環境の補助を切り口に都心部へのマンション過剰供給をコントロールする本議案は、地方との共生と持続可能なまちづくりへ効果をもたらすと考えることから、本議案に賛成する。(牛尾)



東京地裁判決について

令和2年7月31日議員25名(のちに4名取り下げ)で東京地方裁判所に提起した「解散処分無効確認」及び令和2年9月30日議員21名(のちに3名取り下げ)で提起した「損害賠償請求」にかかる判決が令和3年6月29日に出されました。この判決について、議長及び区長がコメントを発表し、本事案は確定しました。

《桜井議長コメント》

「前区長の区議会解散処分が違法であること、それにより生じた損害(訴訟費用等)が実質全額認められたことから、区議会の原告議員の主張が全面的に認められた判決と受け止めています。」

《樋口区長コメント》

「司法判断を重く受け止め、判決を受け入れることにしました。また、判決理由を慎重に検討した結果、区が支払う損害賠償金について、前区長に求償することといたしました。今後、区民福祉の向上のために、区議会と信頼関係を構築し、建設的な議論を積み重ね、区政を前進させてまいりたいと考えております。」



要望書の提出

「新型コロナウイルス感染症に関する緊急要望書」を区に提出

令和3年4月27日に、千代田区議会災害対策支援本部(新型コロナウイルス)は、区へ6回目となる緊急申し入れを行いました。感染者は高止まりし、東京都に3度目の緊急事態宣言が発出される状況を受け、千代田区議会の各会派から寄せられた緊急要望書を提出しました。



区民集会 (令和2年度区民集会運営協議会の取組みについて)

「区民集会運営協議会」は、区民の抱える諸課題を、区民と区議会が一体となって議論する場として開催しています。令和2年度は、次のとおり活動しました。

【活動の詳細】

●令和2年7月21日

【内容】

前年度に、活動のテーマを「水辺の魅力、千代田の魅力発見」に決定していましたが、新型コロナウイルスの影響を考慮し、令和2年度のテーマを再検討しました。

●令和2年10月22日

【内容】

新テーマを「治水対策及びお濠の浄化」に決定し、「治水対策」については、国土交通省関東地方整備局荒川河川流域事務所提供「荒川氾濫」の映像を視聴。更に、千代田区災害対策・危機管理課長から、区の「千代田区洪水避難地図(洪水ハザードマップ)」の説明を受けました。

【成果】

「治水対策」について、集中豪雨等の自然災害が発生した際の行動や、ハザードマップの活用について、知見を広げることができました。

●令和3年4月22日

【内容】

「お濠の浄化」について、大手町にある大手濠の浄化に官民連携で取り組んでいる施設(大手門タワー・ENEOSビルサンサンラボフューチャー 3×3Lab Future) 及びお濠の現地調査を行いました。

【成果】

官民連携で整備したお濠の浄化施設の視察を行うことで、民間の「お濠の浄化について」の現況や取り組み等の知識を深めることができました。

令和2年度の活動は、今後の環境問題について考えるひとつのきっかけになるものと整理し、調査を終了しました。



大手門タワー・ENEOSビル 3×3Lab Futureにて

委員会で取り扱った請願・陳情（令和3年4月17日～令和3年7月15日）※詳細は、区議会ホームページでご覧になれます。

請 願 ・ 陳 情 名（受付順に掲載）	送付委員会	審査状況
神田警察通りで長年育った愛着ある街路樹を残すよう求める陳情	企画総務委員会	審査終了
外神田一丁目1、2、3番地市街地再開発事業の再検討を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会 （企画総務委員会から送付替え）	継続審査
企画総務委員長の監査委員辞職を求める陳情書	議会運営委員会	審査終了
千代田区外神田一丁目南部地区再開発事業に関する陳情	企画総務委員会	審査終了
街路樹の伐採を伴う神田警察通りの整備計画見直しを求める陳情	企画総務委員会	審査終了
放射能汚染水の海洋放出に反対する意見書の提出を求める陳情	企画総務委員会	審査終了
千代田区外神田一丁目南部地区再開発事業に関する陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
沖縄戦犠牲者の遺骨を含む土砂を埋め立てに使用しないよう求める陳情	企画総務委員会	継続審査
清掃事務所を区のものとして建設するよう求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
再開発共同化に係る合意形成のルールを条例として作ることを求めます	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
外神田一丁目南部地区再開発事業の早期推進を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
千代田区外神田一丁目南部地区再開発事業に関する陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
区の屋内喫煙所設置助成事業について	地域文教委員会	審査終了

令和3年第2回定例区議会 会期日程〈会期:6/1～6/22までの22日間〉

月/日	本会議・委員会関係日程	月/日	本会議・委員会関係日程
6/ 1	議会運営委員会	6/14	議会のあり方調査検討特別委員会
	本会議（会期の決定・区長招集あいさつ等）		災害対策・危機管理特別委員会
2	議会運営委員会	15	公共施設調査・整備特別委員会
			環境・まちづくり特別委員会
8	議会運営委員会	16	議会運営委員会（開会に至らず）
	本会議（代表質問・一般質問）	17	企画総務委員会
9	議会運営委員会		保健福祉委員会
	本会議（一般質問・議案の付託等）	18	地域文教委員会
10	企画総務委員会	21	議会運営委員会
	地域文教委員会	22	議会運営委員会
11	保健福祉委員会		本会議（議案の議決）

4月～6月の主な活動

月/日	日 程	月/日	日 程
4/15	企画総務委員会	5/19	オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
	企画総務委員会・国内行政調査（清掃事務所）		景観・まちづくり特別委員会 地域文教委員会
19	保健福祉委員会	21	〈令和3年第1回千代田区議会臨時会告示日〉 議会運営委員会
21	地域文教委員会		
22	区民集会運営協議会	25	〈令和3年第2回千代田区議会定例会告示日〉 議会運営委員会
23	議会運営委員会	27	議会運営委員会
26	景観・まちづくり特別委員会 企画総務委員会	28	令和3年第1回千代田区議会臨時会 議会運営委員会 企画総務委員会 地域文教委員会 保健福祉委員会 環境・まちづくり特別委員会 公共施設調査・整備特別委員会 災害対策・危機管理特別委員会 議会のあり方調査検討特別委員会
27	要望書提出（令和3年度新型コロナウイルス感染症に関する緊急要望について）		
5/13	議会運営委員会		
17	企画総務委員会		
18	災害時要配慮者等対策特別委員会 文化財保存・活用特別委員会	31	議会運営委員会
		6/ 3	政務活動費交付額等審査会

議案の審議結果等（令和3年第2回定例区議会）														○議席番号及び議員名、所属会派は 令和3年6月22日現在のものです。										可…可決 ○…賛成		否…否決 ×…反対								
議 員 名 等 ※議員名の下段は、会派名略称		議 案 名 等	出 席 者 数	投 票 数	賛 成	反 対	議 決 結 果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議 決 月 日	
								小 野 なりこ 都 フ ァ	岩 佐 りょう子 立 憲	長 谷 川 みえこ 紡 ぐ 会	小 枝 すみ子 声 会	秋 谷 こうき 至 誠 会	岩 田 かずひと 立 民	桜 井 ただし 自 民	う が い 友 義 自 民	西 岡 めぐみ 自 民	飯 島 和 子 共 産	牛 尾 こうじろう 共 産	木 村 正 明 共 産	大 坂 隆 洋 自 民	池 田 とものり 自 民	山 田 丈 夫 自 民	内 田 直 之 自 民	永 田 壮 一 自 民	た か ざ わ 秀 行 自 民	米 田 かずや 公 明	大 串 ひろやす 公 明	林 則 行 自 民	嶋 崎 秀 彦 自 民	河 合 良 郎 自 民	小 林 やすお 自 民	小 林 たかや 自 民		
議 員 提 出 議 案	千代田区住宅基本条例の一部を改正する条例		25	24	6	18	否	×	×	○	○	×	○	議 長 は 採 決 に 加 わ り ま せ ん	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	6/22		
	千代田区議会会議規則の一部を改正する規則		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/22
	千代田区議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/22
区 長 提 出 議 案	令和3年度千代田区一般会計補正予算第2号		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/22
	千代田区の一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部を改正する条例		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/22
	職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/22
	千代田区特別区税条例の一部を改正する条例		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/22
	千代田区区民館条例の一部を改正する条例		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/22
	千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/22
	千代田区介護保険条例の一部を改正する条例		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/22
	千代田区地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/22
	特別区道千第262号(大神宮通り)電線類地中化事業の施行に伴う道路整備工事委託協定の締結について		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/22
	特別区道千第254号(二七通り東)電線類地中化事業の施行に伴う引込管路工事等委託協定の締結について		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/22
	千代田区立障害者就労支援施設の指定管理者の指定について		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/22
後楽橋補修補強工事請負契約について		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/22		
災害対策用備蓄物資(食料)の購入について		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/22		
報 告	令和2年度千代田区一般会計予算の繰越明許費に係る歳出予算の繰越しについて																														6/9			
東京都後期高齢者医療広域連合議会議員選挙候補者について(指名推選)			候補者		池田 ともり議員																												6/1	

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数25名(6月22日時点)
◇ 会派名 千代田区議会 自由民主党(自民)／日本共産党区議団(共産)／公明党議員団(公明)／千代田を紡ぐ会(紡ぐ会)／ちよだの声(声)／立憲民主党 新生ちよだ(立民)／立憲政策フォーラム(立憲)／都民ファーストの会 千代田区議会(都ファ)／千代田至誠会(至誠会)

内田直之議員（千代田区議会 自由民主党）が、令和3年6月24日付で、千代田区議会議員を辞職しました。

■ 令和3年第3回定例会の主な予定

9月 8日（水）…招集日

9月15日（水）…代表・一般質問

9月16日（木）…一般質問

・変更となる場合もございます・詳細は区議会 HP をご覧ください。

■ 区議会だより編集委員会の構成

◎委員長 ○副委員長

◎山 田 丈 夫（自民）

◎河 合 良 郎（自民）

小 野 なりこ（都ファ）

長谷川 みえこ（紡ぐ会）

岩 田 かずひと（立民）

うがい 友 義（自民）

西 岡 めぐみ（自民）

牛 尾 こうじろう（共産）

大 坂 隆 洋（自民）

池 田 とものり（自民）

米 田 かずや（公明）